

## 地質標本館2002年度野外観察会を終えて

<宮地 良典・兼子 尚知>



1. 2002年10月12日に秋晴れの天候にも恵まれ野外観察会が行われました。つくばの産総研からバスで約1時間で山方町北富田の展望台<sup>やまがたまちきたとみ た</sup>に到着しました。奥久慈の急峻な地形は男体山火山角礫岩類<sup>おんなたいさん</sup>と呼ばれる第三紀の火山岩でできています。奥に見える左手の比較的なだらかな山が長福山(496m)、右手の急崖を作るのが男体山(654m)です。長福山は塊状溶岩からなり、男体山はシュード枕状溶岩からなります。



2. シュード枕状溶岩に貫入するめのう脈。山方町の林道沿いは、黒っぽい火山角礫岩の中に、このような小さなめのう脈が多数見られます。



3. 地質標本館所蔵の玉髓(めのう)。茨城県山方町北富田産、大きさは長辺が18cm GSJ M16543 (撮影：豊 遙秋)。



4. この付近ではめのうの坑道跡がいくつかあります。その一つを見学しました。中央部には、上下にのびる幅30cm以上のめのう脈が何本も見られます。左右の壁はデイサイト質の溶岩です。



5. めのうの採取は近くの「ズリ」で行いました。落ちている石の中にはめのうがたくさん見られました。一部の参加者からは「露頭から採取したかった」という声もありましたが、たくさんのめのうを拾うことができ、大盛況でした。



6. 袋田の滝は奥久慈の景勝地として有名です。袋田の滝を作る岩石は、火山岩のみからなる礫岩(火山角礫岩)でできています。当日は瀑布の音と人混みで十分な説明ができませんでした。



7. 観察会の最後に袋田の滝の下流で集合写真を撮りました。今回の観察会では、奥久慈の自然と岩石に触れ、たくさんのめのうを持って帰りました。帰りのバスでは疲れが出たのか多くの方は夢の中だった様です。